

平成22年度地域木造住宅市場活性化推進事業費補助金成果報告書

1. 事業名

「高気密・高断熱の木造住宅の施工技術向上のための教育システム開発に関する事業」

2. 事業実施期間

平成22年6月 ～ 平成23年2月28日

3. 事業主体

職業訓練法人 愛知県建設センター

4. 事業の成果

事業の目的は、技能者が高気密・高断熱な木造建築を理解し、高度な施工技術を習得することである。

【技術者の対象】

愛知県建設センターの地元工務店の会員及び親方会員、愛知県の地元工務店及び親方などの住宅建設関連業者。

【募集方法】

- ・機関紙「あいけんニュース」9月号（平成22年9月初旬）
- ・機関紙「あいけんニュース」号外チラシ（平成22年9月中旬）
- ・機関紙「あいけんニュース」11号チラシ（平成22年11月初旬）
- ・機関紙「あいけんニュース」1月号チラシ（平成23年1月初旬）
- ・あいけんホームページ掲載（平成22年10月頃から）
- ・社団法人日本建築士会連合会CADシステム内ページ（平成22年10月頃から）
- ・中日新聞掲載（平成22年9月24日掲載）
- ・日本住宅新聞（平成22年10月15日掲載）

【募集人数】100名

## 【教育プログラムと成果】

受講者は以下の講習会・講演に出席。ただし、断熱施工実技講習会は4回のうちから出席する日を選択。

- (1) 「高断熱・高气密住宅 研修及び視察」(仙台現場研修)(平成22年10月21日・22日)  
実際の高断熱高气密の施工現場2棟を見学、高断熱高气密住宅2棟を見学。※33人参加



- (2) 「低炭素社会と住宅の断熱・気密」(東京大学大学院 坂本雄三教授講演)(平成22年11月4日) ※75人参加



- (3) 断熱施工実技講習会

- ・ 第1回(平成22年11月7日) ※20人参加
  - ・ 第2回(平成22年11月28日) ※21人参加
  - ・ 第3回(平成22年12月4日) ※20人参加
  - ・ 第4回(平成22年12月12日) ※31人参加
- 計92人の参加を得る。



- (4) 断熱施工実技講習会確認考査の実施(平成22年12月27日発送、平成23年1月15日回収) 57/92人回答 正解率:平均90%

(5) 断熱施工確認講習会（平成23年1月29日）

断熱施工実技講習会の内容や確認考査の内容などの質疑、現場で直面した施工の疑問について、再度、施工技術の確認を行なう。※32人参加



(6) 「木造住宅の地球環境貢献」（東京大学 井上雅文准教授講演）（平成23年1月29日）

※46人参加



(7) 断熱施工マイスター認定制度の告知（平成23年1月20日発送）

（断熱施工マイスター認定制度内容）

断熱施工実技講習の受講者が対象。

受講者は、受講後の断熱施工現場での施工内容を愛知県建設センターが指定する報告書に記載し、毎年行われる愛知県建設センター断熱施工マイスター認定委員会の開催前にその報告書を提出する。

愛知県建設センター断熱施工マイスター認定委員会において、認定委員が提出された報告書の審査を行い、審議を経て、報告書を提出した技能者を断熱施工マイスターとして認定し登録を行なう。

その結果は、愛知県建設センターのホームページにて、認定登録された技能者とその所属する工務店などを公表する。

公表することにより、消費者側から高気密高断熱住宅づくりを任せられる技能者・工務店であることを確認出来るようになる。

【今後の事業の展開】

今回の受講修了者は92人である。

今後は当教育プログラムを毎年実践し、年間100名程度に受講させる。

10年を目標に愛知県内の技能者に対し施工技術認定登録を行ない、県内の800社の各工務店に施工技術認定登録をした技能者がいることを目指す。